

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい児通所支援事業所 きらら (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	令和7年2月 19日		～ 令和7年2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、公認心理師、介護福祉士、児童指導員等、資格を持った職員が多く、より専門性の高い支援を提供することができている。	保育士、公認心理師、介護福祉士、児童指導員等、有資格者が多数在中しており、各分野の専門性を活かした個別・集団療育を実施することができる。また、それぞれ各分野の研修に参加し、事業所内研修にて情報伝達を図ることで、全職員が様々な分野の知識を習得することができている。	資格保持者は多数在中しているが、男性職員が少ない。思春期のメンタルケア、同性介助等を考慮し、男性職員の配置も検討していく。
2	日頃から、ご利用者の状況を保護者に伝え、定期的な面談を行う事で、保護者とのコミュニケーションを図ることができている。 また、保護者からの相談や要望に対しては、関係機関と連携をとり、ケース会議を開催したり、支援内容等の情報共有を図っている。	日々のご利用者の様子を送迎時やLINEを活用して保護者にお伝えしている。また、活動や行事の様子を写真や動画でリアルタイムで知らせている。 関係機関とは、ご利用者の支援について、必要に応じて連絡を取り合い、情報共有している。	ご利用者や保護者の意向を受け止め、兄妹を含めた家族をトータルに支援していくことができるように相談や要望に対して話し合う機会を定期的に設ける。
3	同法人内に就労支援センターが併設されており、いろんな方との触れあいや将来を見据えた就労体験もできている。また、事業所の設備は、バリアフリー化されている。また、発達の特徴に応じた配慮ができるよう様々な施設環境が整っている。	必要に応じて、ご利用者が個別に過ごせる個室、集団での活動時に使用する活動室、買い物体験等で利用可能な同法人内にあるカフェ、多様な遊びや体験活動が可能な運動場等、安全に考慮して、様々な施設設備が充実している。	安全計画に基づき、施設内の安全点検を定期的に行う。また、ご利用者の発達状況や発達特性に応じて、ご利用者の安全・安心が確保できる場となるよう設備や環境を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援、保護者等の開催等により、保護者同士の交流の機会があまりない。 家族支援プログラムを活用したペアレントトレーニング等が行えていない。	家庭の都合や保護者の方の就労の都合で、参加できる日程が限られてくる。 ペアレントトレーニング等を実施できる職員が少ない。	定期的に保護者の方に事業内容や活動内容を伝える機会を設ける。年間行事に保護者座談会を組み込み、保護者同士が交流できる場を提供する。 保護者の参加しやすい日時や時間帯を把握するとともに、保護者の意向を聞きながら参加してみたい内容の研修を計画する。 勉強会や研修会等に参加し、それを保護者の方に伝えていくことで、ペアレントトレーニング等の方向に繋げていく。
2	主治医との連絡体制が整っていない。	現在、保護者を通じて、医療に関するごとの情報共有は行っている。しかし、今後、主治医や協力医療機関との情報共有が必要になる可能性もある。	保護者の同意を得て、今後、必要であれば主治医や協力医療機関と連携し、情報共有を行うことができる体制を整えていく。
3	地域の方を招いて行う出前講座や体験学習、また地域の他の子どもと活動する機会はあるが、保護者への情報発信が十分にできていない。	現在、同法人内で開催している地域の方を招いたフェアを実施している。また、長期休暇を利用して、地域の方に来ていただく出前講座や地域施設を訪問する体験学習を年間行事に組み込んでいる。しかし、保護者の方への情報発信が十分にできていない。	LINE等で保護者に活動の様子をお伝えするとともに、HPで事業所全体の行事や活動の様子等を随時発信していることを伝える。また、個人情報の取扱いに注意しながら、SNSを利用した新たな情報発信の仕方を検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障がい児通所支援事業所 きらら
(放課後等デイサービス)

公表日 令和7年 3月 25日

利用児童数

34名

回収数

34名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	1			・広いスペースが常に確保されていると感じる。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33	1				・人員基準は満たしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	1			・清潔感があり感染面でも安心して預けている。	・施設は全館バリアフリーです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34				・静養室があるのは助かる。 ・落ち着ける空間を提供してくれている。その時の応じた環境を上手く提供してくれている。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	1			・行動記録を付けたり、個別に問題点を分析してくれて、様々な面からサポートされている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	2			・本人に必要な支援をリアルタイムに考えて実行に移してくれる。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33			1	・いつもいろいろと工夫してくださり本人もすごく楽しそうです。・日中活動プログラムは分かりやすい。 ・いろんな活動をしてくれてありがたい。 ・長期休みの際も工夫されていると思う。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	18	15		※無回答 1名	・実際に見ていないので分かりません。 ・社会体験学習などのイベントの機会に、もっといろんな人との関わりが持てたら良いと思います。 ・あまりイベントに参加していないのでよく分かりません。	・毎月同法人でイベントを開催しています。イベントにて地域の子どもと一緒に遊び、いろんなことを体験できるよう工夫しています。 ・不参加のご家族には毎月イベントのチラシを配布するようにします。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34				・いつも丁寧に説明してくださっていると感じる。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34				・いつもしてくれている。 ・詳しく教えていただいている。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	34					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	33	1			・送迎時などに丁寧に対応してくださっている。 ・LINEを使って細めに連絡してくれて情報共有ができるので助かる。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34				<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に計画を立て、きららでの様子や出来事を教えてくれ、相談も聞いてくれるので、分かりやすいし助かる。 ・困った時など必要な時にサポートしてくれている。 ・いつもよく話を聞いていただいている。 ・きららでの子ども様子を伝えてくれている。 	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34				<ul style="list-style-type: none"> ・よく見て頂いていると思う。 ・否定せず意見を受け入れてくれている。 ・いつもよく話を聞いていただいている。 	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	10	1		<ul style="list-style-type: none"> ・分かりません。 ・行事の時などに保護者と相談会などがあつたらいいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族支援については「育児サポート」ができるような日程や行事を検討していきます。 ・「手をつなぐ育成会」の相談会の情報提供をしています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34				<ul style="list-style-type: none"> ・とても相談しやすいです。 ・今困っている事にすぐ対応してくれた。 ・悩みがあり相談した時には迅速に対応してくれて心強いです。 ・子供本人も聞いてもらいたいことがあるばきららに来るのを待っている。 ・何かあればいつもすぐに対応してくださっていて助かります。 ・学校での悩み等があり、相談すると迅速に対応してくれて解決することができ、楽しく通学できるようになった。 ・問題や困りごとがあればLINEを通じてすぐ相談できるので1人で悩まず解決できる。 	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	1				<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の方には主にLINEで連絡を取らせてもらっています。緊急時や申し送りが必要要件は電話や送迎時、来所時にお伝えしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	3			<ul style="list-style-type: none"> ・よく分かるように工夫してくださっていると感じる。 ・展示会ややねこじきの様子などをLINEで送ってくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回活動や行事内容はLINEで事前にお伝えし、活動の様子もリアルタイムでお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34				<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧にくださっていると感ずる。 	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33	1				<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の安全計画を策定し、年間訓練の予定等を公表致します。 また、避難訓練等の様子もLINEやホームページ等でお知らせしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33			1	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面でも様々な方法を考えてくれている。 	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34				<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと状況説明してくださるので、安心している。 ・怪我をした時にどういった状況だったかどんな処置をしたか伝えてくれている。 	
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	34				<ul style="list-style-type: none"> ・いつも楽しく通所してくれているので、親もうれしい。 ・「きらら」に行くと、他の学校の友達や先生に会えるので楽しみに通所できている。 ・とても楽しんで通所している。 ・十分できている。 ・先生方のおかげで今まで一度も通所を嫌がったりめんどくさがったりはありませんでした。幼小の頃からかけがえのない経験をさせていただきました。 	

満足度	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	29	5	<ul style="list-style-type: none"> ・時々行きたくないと言う時がある。 ・仲がいい子がいらないと言ってます。 ・いつも楽しみにしているためありがたいと思っております。 ・月2回(土曜日)の利用であるが、すごく楽しそうな様子を子どもから聞きます。 ・本人の気分にむらがあるが利用を楽しみにしている。 ・他の学校の子たちと遊んだり先生と話をしたりするのが楽しいみたいです。 ・先生との良い距離感ですごく安心して接しています。 ・すごく楽しんで行っています。 ・自分の好きなお友達がいるのが分かるので安心していけている。 ・子どもに寄り添った支援をいつもしてくださり本当に感謝しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムや行事等を見直し、お子様が楽しく過ごせるよう日々検討します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34		<ul style="list-style-type: none"> ・さりげない気遣いができるようになってきました。 ・いろんな体験をさせてもらっている。 ・行事として地図を見て公共の乗物に乗るなど、自分で乗物に乗ったり視野が広がるといいと思っています。 ・とても満足しています。 ・いつも感謝しています。ありがとうございます。 ・とてもありがたく思っています。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	障がい児通所支援事業所 きらら (放課後等デイサービス)		公表日 令和7年 3月 25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・基準を満たし配置している。 ・必要に応じて個別対応をしている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・施設内は全てバリアフリーに配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日清掃を行い、衛生面には気を配っている。活動によって空間を使い分けている。 ・毎日清掃を行い、定期的に道具や設備の点検をし、環境に配慮している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・子どもの状況を見ながら、必要に応じて個別の部屋を使用している。 ・子どもの体調や気持ちの変化に配慮し、個別に落ち着くことができる部屋や場所を確保している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・毎朝の朝礼で気づいたことや振り返りを行う時間を設けている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者の意向の把握や意見に対して話し合い、改善につなげている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・定期的に会議を行い、必要があればその都度、職員間で話し合い、情報共有し改善に努めている。 ・朝礼や会議等それぞれの職員が意見を出し合い、より良い支援を行うことができるようにしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・HPにて公表、保護者の方にも情報提供している。 ・HPで公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・職員間で情報共有しながら話し合い、検討している。 ・必ず支援に関わる職員を含めて支援計画を検討し、共通理解を図っている。 ・全職員でその子どもの良さや課題について共通理解し、計画作成の際、検討している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・5領域に沿った目標とその目標を職員で共有し、支援方法の共通理解を図っている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・アセスメントシートや検査結果を基に計画を作成している。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			・児童の特性や年齢に合わせて5領域に沿った活動プログラムを考え、チームで検討している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			・それぞれの職員が案を出し合い活動プログラムを考えている。 ・5領域に沿って毎日日替わりでプログラムを組んでいる。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			・朝礼で全職員参加し、その日の役割や活動、前日の児童の様子などを話し合っている。 ・毎朝ミーティングを行い、情報共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			・気付いた点や急を要する内容は支援終了後に話しているが、打ち合わせについては、次の日の朝礼時に行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・支援内容や申し送り等を記録し、検証改善につなげている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			・6か月に1回以上モニタリングを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			・5領域に沿った内容で計画している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			・活動をいくつか設定し、選択することや子どもによっては自分でスケジュールを組んでいる。 ・活動の際は、いくつか選択できるようにしておき、子ども自身が決めるようにしている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		・必要になれば、主治医や協力医療機関とご家族を通じて連絡体制を整えたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			・保護者の要望で学校とケース会議を開催し、情報の連携や支援方法について話し合いを実施している。 ・送迎時のトラブルに関しては、学校と一緒に対応できるよう協力をお願いしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		・保護者からの申し送りや以前に利用していた事業所からの申し送りや聞き取り等情報共有の連携は図っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			・専門機関と連携し、支援について助言やアドバイスをいただいたり、定期的に子ども部会等での研修を受けている。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6			・同法人内のイベントで、地域の子どもたちと一緒に活動する場を設けている。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・送迎や家族の迎えの際に子どもの状況はお伝えしている。またLINEで活動の様子を写真で送っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		・現在ペアレントトレーニング等は事業所内で行っていないが、研修で学んだ職員が話をする場や相談会を設けている。 ・月に1回「手をつなぐ育成会」への相談会等への情報を促している。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			・契約時に説明を行い、保護者から問い合わせ等があれば、その都度説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			・必ずご家族の意向を聞く機会を設けている。 ・聞き取りの際にご家族の意向を聞く機会を設けている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6			・親子ふれあい会や親子遠足などの行事を通して、保護者同士の交流をはかれるような機会を設けている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			・HPやLINE等を活用し、活動内容や行事等の情報を発信している。 ・毎月活動内容のプログラム表を発信したり、定期的にホームページにて活動や行事の報告を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			・毎月同法人でイベントを開催している。社会体験の一環で参加し、地域の人々とふれ合う機会を設けている。
非常時等	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			・年間安全計画を策定し、マニュアルの見直しをしている。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・職員間での訓練や、児童達も長期休暇の際に定期的に訓練に参加してもらっている。 ・職員内での訓練や長期休暇中は子どもも参加し避難等の訓練を行っている。 ・定期的に職員、子どもを含めての訓練をしている。 ・法人全体でBCPマニュアルを策定し、訓練、研修も定期的に実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3		・食物アレルギーの有無は、ご家族から診断書を頂き対応をしています。

の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修や訓練を行っている。 ・1年に1回、安全計画を作成し、必要な研修や訓練等を計画的に行うことができるようにしている。 	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・契約の際に周知しているが、モニタリング等、定期的にご家族に周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に年間の事例集を作成し、職員間で課題等を話し合い、次年度の改善につなげている。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修を行い、虐待防止に向けた知識や理解を深めている。 ・毎月の会議で話し合いや振り返りを行い、外部の研修にも参加している。 	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、支援の中で、やむをえず身体拘束を行うことはしていないが、毎月のリスクマネジメント委員会の中で話しあいを実施し、職員間で意識づけを心がけている。 	